

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	1	選択
担当教員			
中尾 健一郎			

講義概要	<p>①子どもの体力と健康の関係について理解する 運動能力と体力の概念について理解する 運動能力を構成する能力について理解する</p> <p>②幼児期までの運動発達について理解する 幼児期から児童期にかけての運動発達について理解する 青年期の運動発達について理解する</p> <p>③幼児期運動指針の意義について理解する 幼児期運動指針のポイントについて理解する 指針推進における保育者と家庭の連携について理解する</p> <p>④運動発達をとらえる方法について理解する 運動能力の測定・評価について理解する 測定結果の活用方法について理解する</p> <p>⑤遊びとしての運動指導の方針について理解する 運動指導における保育者の援助の在り方について理解する 運動遊びを企画する際の留意点について理解する</p>
授業計画	<p>1 オリエンテーション 授業の進め方について学び、これまでの運動指導場面での課題を振り返る</p> <p>学習課題 復習：運動指導場面での課題をまとめる 予習：幼児期の運動能力、体力の捉え方、運動発達の特徴について調べる</p> <p>2 幼児期の運動能力、体力の捉え方と運動発達の特徴についてについて 運動能力、体力の概念を整理し、運動発達の段階について各期の特徴を学ぶ</p> <p>学習課題 復習：配布資料を参考に各概念の整理をする 予習：遊びと運動の関係について調べる</p> <p>3 遊びとしての運動の重要性について 遊びとしての運動指導の基本方針について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：遊びとしての運動指導の在り方についてまとめる 予習：運動発達に影響を与える環境要因について調べておく</p> <p>4 運動発達に関係する園環境と家庭環境について 運動発達と環境要因を構造的に把握する</p> <p>学習課題 復習：運動発達に影響を与える要因についてまとめる 予習：運動発達の時代変化について調べておく</p> <p>5 幼児期の運動発達の時代変化について 運動発達に影響を与える要因について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：運動発達に影響を与える要因を構造的にまとめておく 予習：運動発達の特徴とそれに応じた指導法について調べる</p> <p>6 幼児期の運動発達の発達的特徴に応じた運動指導の在り方について 遊びとしての運動指導のポイントを学ぶ</p> <p>学習課題 復習：運動遊び指導のポイントについてまとめる 予習：運動指導における保育者の役割について調べておく</p> <p>7 「遊びの中で進んで運動をする」という考え方について 運動遊びの指導における保育者の役割について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：運動遊び指導における保育者の役割についてまとめる 予習：用具を工夫した遊びの構成を考えてみる</p> <p>8 進んで運動する子どもを育てる保育と援助について① 用具を工夫して具体的に場面を想定しながら援助法について考えてみる</p> <p>学習課題 復習：工夫して考えた運動遊びの構成をまとめておく 予習：遊具や自然環境を工夫した遊びの構成を考えてみる</p> <p>9 進んで運動する子どもを育てる保育と援助について② 遊具を工夫して具体的に場面を想定しながら援助法について考えてみる</p> <p>学習課題 復習：遊具を工夫した運動遊びの構成をまとめておく 予習：教科書様々な運動パターンを生み出す遊具・用具・自然環境の使い方を考えておく</p> <p>10 発達を支える多様な活動について① 用具・遊具を工夫して様々な運動のパターン引き出す方法を学ぶ</p> <p>学習課題 復習：遊具・用具を用いた様々な運動パターンを引き出す方法についてまとめる 予習：運動能力検査の方法を調べておく</p> <p>11 発達を支える多様な活動について② 自然環境を利用した様々な運動パターンを引き出す方法を学ぶ</p> <p>学習課題 復習：自然環境について活用できるものをまとめておく</p>

	<p>予習：解釈の仕方、日常の保育への活かし方について調べる 運動指導の在り方について 様々な場面での指導・援助の在り方について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：指導方法、援助の方法についてまとめておく 予習：幼児運動能力検査についてまとめておく</p> <p>1 3 幼児運動能力検査の結果の処理と解釈および日常の保育への活かし方について 検査を実践し、結果の処理と解釈の方法と検査結果を日常の保育に活かす方法について学ぶ</p> <p>学習課題 復習：検査結果を日常の保育に活かす方法についてまとめる 予習：これまで実践した運動遊びをアレンジして考えてみる</p> <p>1 4 運動遊びの企画 運動遊びを企画し、指導案を作成する</p> <p>学習課題 復習：指導案に基づいて運動遊びが実施できるようにイメージをもつ 予習：運動遊びの評価のポイントを調べておく</p> <p>1 5 運動遊びの発表 企画した運動遊びを発表し、評価する</p> <p>学習課題 復習：自己評価を行い、内容を振り返る 予習：</p>															
授業形態	演習															
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<table border="0"> <tr> <td>評価比率</td> <td>評価の観点</td> <td>評価手段・方法</td> </tr> <tr> <td>関心・意欲・態度 40%</td> <td>自ら運動に関心を持ち、幼児期の運動発達の特徴を理解しながら、子どもの健全な育ちに寄与することができる</td> <td>授業態度</td> </tr> <tr> <td>思考・判断 20%</td> <td>運動能力を客観的に評価する方法を学び、運動指導の問題点について指摘することができる</td> <td>課題レポート</td> </tr> <tr> <td>技術・表現 20%</td> <td>運動遊びにおける保育者の適切な援助の在り方について考えることができる。</td> <td>課題レポート</td> </tr> <tr> <td>知識・理解 20%</td> <td>子どもの発達段階に応じた運動遊びを企画することができる</td> <td>課題発表</td> </tr> </table>	評価比率	評価の観点	評価手段・方法	関心・意欲・態度 40%	自ら運動に関心を持ち、幼児期の運動発達の特徴を理解しながら、子どもの健全な育ちに寄与することができる	授業態度	思考・判断 20%	運動能力を客観的に評価する方法を学び、運動指導の問題点について指摘することができる	課題レポート	技術・表現 20%	運動遊びにおける保育者の適切な援助の在り方について考えることができる。	課題レポート	知識・理解 20%	子どもの発達段階に応じた運動遊びを企画することができる	課題発表
評価比率	評価の観点	評価手段・方法														
関心・意欲・態度 40%	自ら運動に関心を持ち、幼児期の運動発達の特徴を理解しながら、子どもの健全な育ちに寄与することができる	授業態度														
思考・判断 20%	運動能力を客観的に評価する方法を学び、運動指導の問題点について指摘することができる	課題レポート														
技術・表現 20%	運動遊びにおける保育者の適切な援助の在り方について考えることができる。	課題レポート														
知識・理解 20%	子どもの発達段階に応じた運動遊びを企画することができる	課題発表														
教科書・参考書	教科書： 参考書：幼児期における運動発達と運動遊びの指導 杉原 隆・川邊貴子編著 ミネルヴァ書房 幼児期運動指針 文部科学省															
履修条件																
履修上の注意	実技の際は装飾品ははずし運動ができる服装を準備すること															
オフィスアワー	各授業の前後に質問を受け付ける															
備考・メッセージ																